



市立図書館の

配本サービス

本を通じた心の触れ合い

一人でも多くの人に、読書する喜びを届けたい。市立図書館では、こうした気持ちを出発点に、今年五月から「在宅障害者等配本サービス」を始めました。

市内に住んでいる、在宅の身体障害者や六十五歳以上の高齢者で、図書館まで来ることができない人が対象。そのような皆さんの「本を読みたい」という思いにこたえる制度で、全国でも珍しい事業です。

現在、このサービスの利用者は三十八人。随時、希望者を募っています。申し込みは簡単です。市立図書館へ電話をするだけ。職員が自宅まで訪ね、必要

な手続きを行います。

また、読みたい本や好きな分野などを事前に伺い、これを参考にボランティアを通して市立図書館の本などを届けます。本を届けるのは原則として毎月二回、第二・第四木曜、一回の貸し出しは図書が五冊、ビデオやCDなどの視聴覚資料が三点までで、十五日間借りられます。

希望した図書や資料を、利用者の自宅へ届けるのはボランティアです。ボランティアには現在五十九人が登録。三回にわたる「配本

ボランティアが配本

返却もご心配なく
お届けします！



勉強にもなるから



富沢米一さん
大利根町二丁目・64歳

退職後、何かしようとしていたとき、妻から配本ボランティアの話聞き、申し込み

ボランティア養成講座」を受講し、ボランティア活動の意義と役割、プライバシーと図書館などを学びました。

講座を修了し、ボランティアの登録をした人には「在宅障害者等配本ボランティア証」が交付されています。

拠点は9カ所

配本サービスの奉仕拠点は、市立図書館と各公民館図書室、総合教育プラザ図書室です。

市立図書館で希望のあった本などを利用者ごとに袋詰めし、拠点別に分別。利用者の自宅へ市立図書館あるいは最寄りの公民館図書室や総合教育プラザ図書室から、ボランティアの手で直接届けます。

そして二週間後、再びボランティアが利用者宅を訪れ、本な

ました。わたしも腰痛で働けなかった経験があり、人の役に立って活動がしたいなと思っていたんです。人との触れ合いはとても新鮮ですね。勉強にもなります。配本サービスは、図書館へ行きたくても行けない人にとって画期的だから、もっと多くの人に利用してほしいです。わたしも自動車運転できる限り、協力したいと思っています。

を回収。配った時と同じネットワークを通して、市立図書館に戻ってきます。

延べ314人が利用

五月にスタートした配本サービスは十月三十一日現在、延べ三百十四人が利用しました。配本した総数は千三百八十点。一人当たり平均で一回五点の本などを利用した計算です。

利用者からは「図書館に行かなくても本が借りられて、本当にありがたい」「あきらめていた読書ができ、うれしい」などの声も聞かれ、とても好評。中には、半年で七十点以上もの図書や資料を利用した人も。

「いつでも、どこでも、だれでも」が配本サービスの理念。皆さん、ぜひこの制度をより一層ご利用ください。